

マルチクライアント方式

## 調査企画書

[2022年版 MFPマーケット総覧]

# DX時代に問われる 事務機業界の 成長性分析

=電子写真及びインクジェット方式の  
複合機/プリンタ/プロダクションプリンタ市場の総合分析=

2022年11月



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

## I. 調査テーマ

[2022年版 MFPマーケット総覧]  
『DX時代に問われる事務機業界の成長性分析』

=電子写真及びインクジェット方式の複合機/プリンタ/

プロダクションプリンタ市場の総合分析=

## II. 調査主旨

複合機・プリンタメーカー各社はコロナ禍以降、断続的な部材不足と工場稼働率の低迷に苦しんできたが、2022年後半になり部材調達の点では落ち着きを取り戻し始めており、多くのメーカーがこれまでの遅れを取り戻すため挽回生産を実施していることで工場稼働率も回復に向かっている。

もっとも、製品の生産・供給面での不安が多少解消されてきているとはいえ、今後の販売需要という点では不透明な状況が続く。オフィス市場のプリントボリュームは2022年現在もコロナ前の水準には遠く及ばない状況であり、プロダクションプリンティング市場でもその回復スピードは鈍い。また、コロナ禍での在宅勤務需要で比較的堅調に推移してきた小型プリンタの本体販売も需要が一巡したことで、足下における販売台数は明らかにスローダウンしてきている。

今年の7月には中国政府が、複合機などの設計や製造の全工程を中国国内で行うよう定める新たな規制の導入を目指しているとの情報が一部報道機関を通じてリークされた。同規制ではメイン制御チップやレーザースキャン部品といった中枢部品を中国で設計・製造するよう強調されており、基幹技術の強制的移転と中国ローカルメーカーを公然と優遇する措置につながるものとして業界関係者に衝撃を与えている。

このように日本を中心とする複合機・プリンタメーカーを取り巻く環境は厳しさを増している。複合機を中心とするオフィスビジネスでは、機器販売と消耗品の供給により利益を得る従来のビジネスモデルを超えて、各種ソフトウェアとの連携強化をベースとしたソリューションの発展拡大がこれまで以上に重要となってくる。在宅勤務向けビジネスでは、レーザー方式とインクジェット方式が混在した形で小型プリンタのサブスクリプションサービスが拡大していく。また、プロダクションプリンティング市場においてはヘビーボリューム領域でのビジネス拡大が求められる。パンデミックとロシアのウクライナへの軍事侵攻は世界中で物価高を引き起こしているが、商業印刷市場においてはデジタル化推進のトリガーになり得るとの見方もある。同市場において、乾式トナー勢は液体トナーやインクジェットなどの競合技術の後塵を拝しているが、さらなる大型化・高速化を実現できれば乾式トナーにもチャンスは出てくる。

「2022年版MFPマーケット総覧」はシリーズ第32回目の刊行となります。今回も乾式トナー方式の複合機、プリンタ、プロダクションプリンタの市場動向を中心に調査・分析を進めていく点は従来と変わりませんが、インクジェット方式や液体トナー方式といった競合技術との市場における競合状況分析をより詳細に実施する予定です。本レポートをご利用いただく関係各位におかれましては、事業再発展の一助となることを望みます。

ハードウェアの調査対象スピードレンジ

① PC (1～10 ppm)
② セグメント1 (11～20)
③ セグメント2 (21～30)
④ セグメント3 (31～40)
⑤ セグメント4 (41～69)
⑥ セグメント5 (70～90)
⑦ セグメント6 (91～)

調査対象地域分類

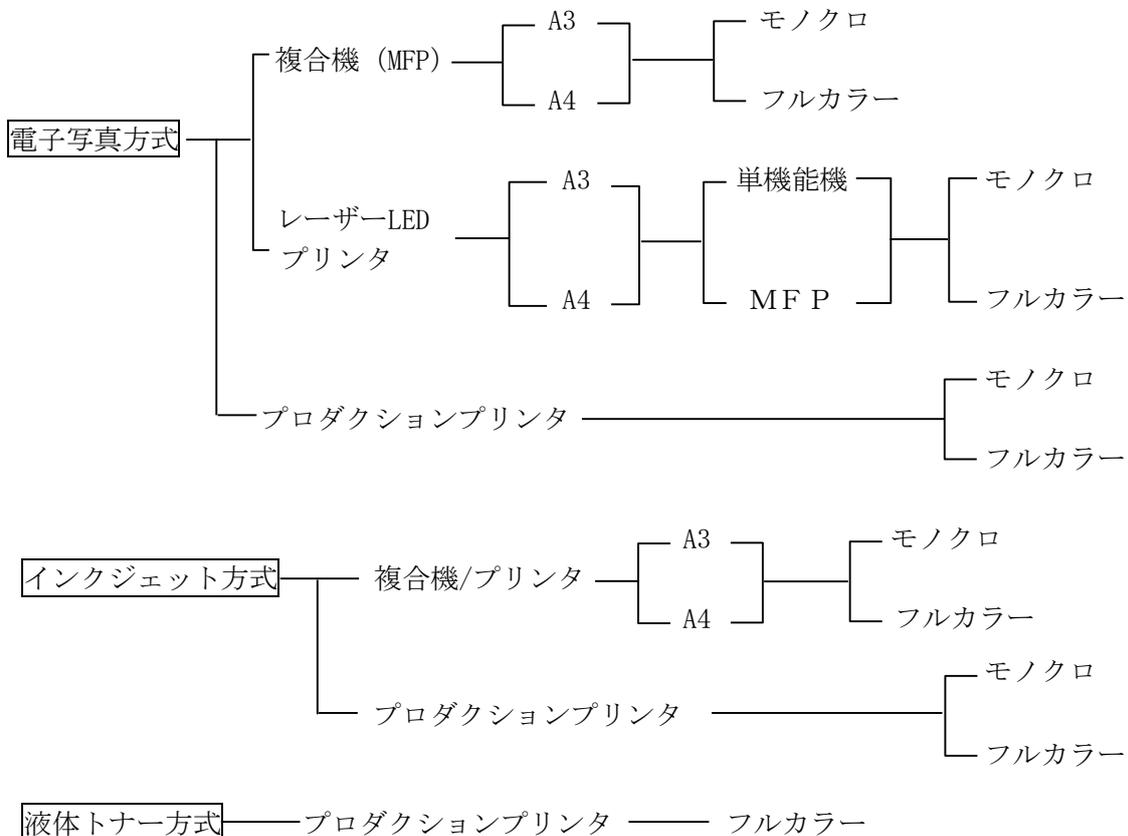
日本
北米
欧州
中国
その他

カラーはモノクロのスピードで分類。

ハードウェアの出荷台数の調査範囲

1. エンジンメーカーとしての出荷台数
  - 1) エンジンメーカーとしての出荷台数 (自社ブランド/OEM 供給)
  - 2) OEM を受けている分のお荷台数
2. 主要プリンタベンダー別出荷台数

Ⅲ. 調査対象品目



## IV. 調査対象先

1. 主要メーカー（ベンダー）
  - 1) 複合機メーカー・ベンダー  
キヤノン、リコー、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、京セラドキュメントソリューションズ、シャープ、東芝テック、HP（HP Printing Korea）、Xerox、その他（村田機械、Avison、Pantum）
  - 2) レーザー／LEDプリンタメーカー・ベンダー  
キヤノン、ブラザー工業、HP（HP Printing Korea）、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、OKI、京セラドキュメントソリューションズ、リコー、Lexmark、Xerox、セイコーエプソン、NEC、富士通、Pantum（中国）、Lenovo（中国）、Deli（中国）、Avison（台湾）、TOEC（中国）、CUMTEEN（中国）、その他
  - 3) プロダクションプリンタメーカー・ベンダー  
キヤノン（キヤノンプロダクションプリンティング）、リコー、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、ゼロックスコーポレーション、HP（インディゴ）、コダック、他
  - 4) インクジェットメーカー  
HP、キヤノン、セイコーエプソン、ブラザー工業、他
2. 関連メーカー・ベンダー
  - 1) OEM先メーカー
  - 2) 主要ディーラー（ベンダー）
  - 3) 部品・材料メーカー
  - 4) その他関連取引先

## V. 調査対象期間及び対象範囲

1. 対象期間  
2020年～2021年実績、2022年見込～2025年予測
2. 調査対象範囲  
対象範囲は日本を含め全世界（北米、欧州、中国、その他）

## VI. 調査方法

1. 取材対象メーカーへの直接訪問面接調査
2. 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査
3. 弊社に蓄積されているデータの活用

## VII. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態  
本調査はマルチクライアント方式による調査である。
2. 調査期間  
2022年11月～2022年12月
3. 調査報告書刊行日  
2022年12月22日
4. 提出報告書  
A4判簡易製本/PDF

5. 1社当りの参加費用

¥600,000- (消費税別) (フルレポート/2021年版 640頁)

※部分購入をご希望の場合は別途お問い合わせください。

※刊行前の注文は10%オフ。申込時に半金、報告書完成時に残金を請求させていただきます。  
尚、日、支払日はクライアント様の規定に準じます。

6. 調査担当者

山本幸男、吉田晃介、針生正史

(Tel:03-3831-9201、Fax:03-3831-9204、

E-mail: yamamoto@datasupply.jp/yoshida@datasupply.jp/

hariu@datasupply.jp)

(ホームページ: <http://www.datasupply.jp/>)

7. 申込方法

上記の担当者宛に申込書をFAXかE-mailでお送り下さい。

調査のポイント

オフィス及びホーム市場における電子写真とインクジェットの競合状況  
地域別に電子写真優位の市場、インクジェット優位の市場があるのか？

プロダクションプリンタ市場では乾式トナー、インクジェット、液体トナーなど様々な技術方式が価格帯やスピードレンジで棲み分け？競合？

主要メーカー同士の OEM 関係は今後活発化していく様相  
中国市場は OEM ブランドによる販売が拡大していくのか？

A3 複合機市場への参入も視野に入れ始めた中国メーカーの拡大戦略は？既存メーカーに対してはどのような影響を与えるのか？

業界再編は進むのか？HP とゼロックスの協業はどうなる？日本メーカー同士でも OEM の枠を超えるような再編は起こるのか？

## VIII. 調査項目

### A. 総合分析編

1. プリンティング機器の全体出荷動向（2020年～2025年）
  - 1-1. 技術方式別全体出荷動向（台数、金額）
  - 1-2. 乾式トナー方式の全体市場（台数、金額）
  - 1-3. インクジェット方式の全体市場（台数、金額）
  - 1-4. 液体トナー方式の全体市場（台数、金額）
2. 複写機・複合機（MF P）市場における電子写真とインクジェットの競合状況
3. プリンタ市場における電子写真とインクジェットの競合状況
4. プロダクションプリンタ市場における乾式トナーと液体トナー/インクジェットの競合状況
5. 生産動向（2021年、2025年）
  - 1) 複写機・複合機（MF P）
  - 2) レーザー/LEDプリンタ
6. スピードレンジ別の出荷台数比較
  - 1) 複写機・複合機（MF P）
  - 2) レーザー/LEDプリンタ
7. 出力サイズ（A3/A4）別の出荷台数比較
  - 1) 複写機・複合機（MF P）
  - 2) レーザー/LEDプリンタ
8. 自社ブランド（自社エンジン、OEM受分）とOEM供給戦略及びEMSの変化
  - 1) 複写機・複合機（MF P）
  - 2) レーザー/LEDプリンタ
9. ハードとノンハードの売上高比率の推移
  - 1) 複写機・複合機（MF P）
  - 2) レーザー/LEDプリンタ
10. 中国市場における中国メーカー製複合機とプリンタの開発動向
11. 複合機メーカーのソリューションビジネス概要と市場動向

### B. 電子写真方式ハードウェア市場

#### B-1. 複写機・複合機（MF P）市場（2020年～2025年）

##### I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本/北米/欧州/中国/その他）
3. 国別生産動向
4. 出力サイズ（A3/A4）別出荷動向（台数、金額）
5. メーカーシェア（台数、金額）、ブランドシェア（台数）
6. モノクロ・カラー別のスピード別出荷動向
7. OEM関連情報
8. 出力ボリュームの変化
9. 商品開発動向
10. ハードとノンハードの売上高比率

##### II. 個票編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本/北米/欧州/中国/その他）
3. 国別生産台数
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3/A4）別出荷動向（台数、金額）※全世界及び地域別
6. 機種別の出荷台数（2021年実績分）
7. OEM関連情報
8. 出力ボリュームの変化
9. 商品開発動向
10. ハードとノンハードの売上高比率

B-2. レーザー／LEDプリンタ市場 ※複合機モデル含む（2020年～2025年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産動向
4. 出力サイズ（A3／A4）別出荷動向（台数、金額）
5. メーカーシェア（台数、金額）、ブランドシェア（台数）
6. モノクロ・カラー別のスピード別出荷動向
7. OEM関連情報
8. 出力ボリュームの変化
9. 商品開発動向
10. ハードとノンハードの売上高比率

II. 個票編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3／A4）別出荷動向（台数、金額）※全世界及び地域別
6. 機種別の出荷台数（2021年実績分）
7. OEM関連情報
8. 出力ボリュームの変化
9. 商品開発動向
10. ハードとノンハードの売上高比率

B-3. プロダクションプリンタ市場（2020年～2025年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. サイズ別（A3／B3／B2）出荷動向
4. メーカーシェア（台数）

II. 個票編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. サイズ別（A3／B3／B2）出荷動向
4. 機種別の出荷台数（2021年実績分）
5. OEM関連情報

C. インクジェット及び液体トナー方式ハードウェア市場

C-1. インクジェットプリンタ市場 ※複合機モデル含む（2020年～2025年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. サイズ別（A3／A4）出荷動向（台数、金額）
5. メーカーシェア（台数、金額）

II. 個票編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）

3. 国別生産台数
4. サイズ別（A3/A4）出荷動向（台数、金額）

C-2. インクジェット方式プロダクションプリンタ市場（2020年～2025年）  
（集計編のみ）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本/北米/欧州/中国/その他）
3. サイズ別（A3/B3/B2）出荷動向
4. メーカーシェア（台数）

C-3. 液体トナー方式プロダクションプリンタ市場（2020年～2025年）  
（集計編のみ）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本/北米/欧州/中国/その他）
3. サイズ別（A3/B2）出荷動向

**D. 電子写真方式ハードウェア機種一覧**

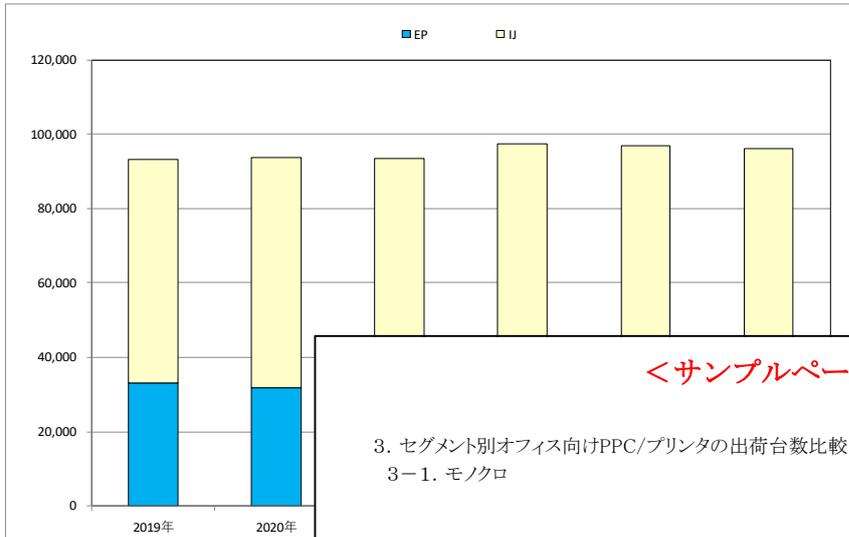
スピードレンジ別機種一覧（2017年～2022年）

1. 複写機・複合機（MFP）
2. レーザー/LEDプリンタ
3. プロダクションプリンタ

<サンプルページ 1> 「2021年版より」

6. インクジェット製品の出荷動向

1) プリンティング市場における電子写真製品とインクジェット製品の競合状況



	年		%
	2019年	2020年	
EP	対前年比		
IJ	対前年比		
全体	対前年比		

プリンティング市場における電子写真製品  
EPが全体の33.9% (3,173万7千台)、IJが同  
向けはIJ、ビジネス向けはEPがメイン機器し  
はEPとIJが競合している。  
2021年においては、EPが部材不足等によ  
インクモデルを中心に台数を伸ばしシェアを  
れているため、EPの比率が拡大していく。

<サンプルページ 2>

3. セグメント別オフィス向けPPC/プリンタの出荷台数比較  
3-1. モノクロ

単位:台

		年	2020年	2024年(予測)
1~10ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
11~20ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
21~30ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
31~40ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
41~69ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
70~90ppm	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
91ppm~	PPC			
	レーザー/ LED プリンタ			
小計				
合計				

注) アミカケは最も出荷台数の多いセグメント



\* MFPマーケット総覧 既刊案内 \*

刊行日	タイトル	価格(税別)	頁数
1992.2	「電子写真方式製品の市場現状と将来予測」	¥ 150,000	126 頁
1993.2	「電子写真製品の速度別出力サイズ別市場の成長力分析」	¥ 400,000	350 頁
1994.4	「'94 高成長を続ける電子写真製品の機能別市場の将来性分析」	¥ 400,000	350 頁
1995.3	「'95 複合化、カラー化が進行する電子写真製品の将来性分析」	¥ 400,000	350 頁
1996.5	「'96 ネットワーク化を強める電子写真の将来性分析」	¥ 450,000	520 頁
1997.10	「'97 新市場形成へ向かうレーザー／LEDプリンタ、ファクシミリの市場動向と将来分析」	¥ 300,000	271 頁
1997.11	「デジタル化、ネットワーク化で新局面を迎えた複写機の現状と将来分析」	¥ 200,000	262 頁
1999.2	「'99 付加価値を高めるレーザー／LEDプリンタ、ファクシミリの市場現状と将来分析」	¥ 300,000	252 頁
1999.4	「デジタル化により変革を遂げた複写機市場の現状と将来展望」	¥ 250,000	422 頁
2000.5	「機能別間競争が激化する電子写真製品の市場現状と将来展望 －ハード市場編－」	¥ 300,000	656 頁
2000.9	「MFP市場総合分析レポート－国内MFP市場編－」	¥ 300,000	248 頁
2001.12	「急成長するMFP(複合機)市場の総合分析と影響力評価」	¥ 600,000	955 頁
2003.7	「カラー化が急進するMFP(複合機)市場の将来動向」	¥ 600,000	974 頁
2004.12	「激変する全MFP(複合機)市場(PPC、プリンタ、FAX)の将来性分析」	¥ 600,000	930 頁
2005.12	「全MFP(複合機)市場とオフィスユーザー調査」	¥ 600,000	927 頁
2006.12	「低価格化競争時代のMFP(複合機)市場とユーザー調査」	¥ 600,000	876 頁
2007.12	「撤退と参入が相次ぐMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	810 頁
2008.12	「市場縮小傾向を乗り越えるMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	844 頁
2009.12	「シェアが急変するMFP(複合機)市場の戦略分析」	¥ 600,000	826 頁
2010.12	「優劣が顕著化するMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	806 頁
2011.12	「淘汰の時代に入ってきたMFP(複合機)市場の将来性」	¥ 600,000	833 頁
2012.12	「市場中心主義の開発が進むMFP(複合機)市場の将来性」	¥ 600,000	839 頁
2013.12	「ローカル開発が加速する電子写真出力機器市場の展望」	¥ 600,000	880 頁
2014.12	「持続する電子写真市場の将来性分析」	¥ 600,000	871 頁
2015.12	「ノンハードを強化するMFP戦略の総合分析」	¥ 600,000	843 頁
2016.12	「業界再編の嵐に遭遇するメーカーの将来展望」	¥ 600,000	845 頁
2017.12	「選択と集中が加速する事務機業界の将来図」	¥ 600,000	757 頁
2018.12	「存在感を増す中国ブランドと事務機業界のゆくえ」	¥ 600,000	727 頁
2019.12	「成熟市場に挑戦し続ける事務機業界の展望」	¥ 600,000	807 頁
2020.12	「新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力」	¥ 600,000	796 頁
2021.12	「業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析」	¥ 600,000	809 頁

# 株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

刊行日・価格の変更があります

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F  
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204  
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp  
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2022年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
<b>《 定期刊行物 》</b>						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～	2021年 7/27～	英	
<b>《 2022年刊行予定物 》</b>						
* 2022年版[感光体マーケット総覧] (273頁) 『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/20	日 英	
* 2022年版[ローラー系部品マーケット総覧] (393頁) 『共存共栄関係の構築を目指す部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000	7/8	日 英	
* 2022年版[トナーマーケット総覧] (594頁) 『ハイブリッドワーク時代に於けるトナー市場の総合分析』	¥600,000	6/24	\$6,000	8/19	日 英	
* 2022年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (419頁) 『ものづくりに変革をもたらすインクジェット技術の 最新市場動向』	¥500,000	10/26	\$5,000	12/9 予定	日 英	
* 2022年版[MFPマーケット総覧] 『DX時代に問われる事務機業界の成長性分析』	¥600,000	12/22 予定	—	—		
<b>《 2021年刊行物 》</b>						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] (286頁) 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25	\$5,200	4/26	日 英	
新レポート *2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282頁)	¥200,000	3/24	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧] (630頁) 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥400,000	4/22	—	—		
* 2021年版[トナーマーケット総覧] (572頁) 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥600,000	6/25	\$6,000	8/24	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (377頁) 『新たなイノベーション創出を目指す 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	10/26	\$5,000	12/10	日 英	
* 2021年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) (809頁) 『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』	¥600,000	12/22	—	—		
総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	各¥350,000		—			
<b>《 その他の刊行物 》</b>						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		